

合神正行の去来の

と云言うゆゆか 念心次第の漸習してい

まふ三日八日に修交 これにて不のなる

小童の丈夫

でまトマトビエーふか平

コレ入子トル此紙下の正の女 三三 のり

あつて修交 フト気がつくとい便所加ゆ

その 七少らん修交なる

これにて丈夫 念印修交 修 終り

念はたつている三とが 終ると不トトする

最初からすとして修交すか修よかた

別々に修交するに修 修かある

冷修 ~~修~~ 修 冷修修を見ていなり

何れ少修く修つていらぬかわから修いぬ

た ちうつ修

高し木果ると念引れえ 修支押いとす

現在 ~~修~~ 修 修 念修あるなるか

自分正念をあると修 行修なる

息子が修修修 修 修 修 修 修 修

息子が修修修 修 修 修 修 修 修

かうの心を配る

お金の心配は 若い時分です 良い仕事は

お金の心配は 一生かもし小遣い

志は候いとし早くとも 一ヶ月分 零れり

早く分る

消費の量もそのは金品だ

自分で料理するが 一番 安易なりだ

それわいつお茶をすむと早くかぬだ

台所でお茶をすむと すぐさがる

ハルバの しゃきねるやうに さす

お茶のことは何も

2020
3/11